

# 筑波大学における社会人教育

## ～ 博士課程早期修了プログラム／社会人大学院 ～

2019. 9. 19  
中央教育審議会  
大学分科会大学院部会

筑波大学副学長・理事（教育担当）  
清水 諭



## 筑波大学の建学の理念と教育研究体制の沿革

- ◆ 筑波大学は、従来の制度にとらわれない新しい構想に基づく大学として、1973年10月に創設（1974年4月学生受入開始）

### 建学の理念

筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流連携を深め、学際的な協力の実を上げながら、教育・研究を行い、**もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成**するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、**あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学**であることを基本的性格とする。

そのため本学は、**変動する現代社会に不断に対応**しつつ、**国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性**を持った**新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発**する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

「筑波大学の基本構想」(1980.2): 本学開学後5年間の経験と成果を踏まえて建学の理念を明確化



## 筑波大学の建学の理念と教育研究体制の沿革

1973.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 筑波大学創設           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学群(ナンバー学群、専門学群)・学系制、修士課程と博士課程の二課程並列制</li> </ul> </li> </ul>
1989	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夜間大学院の設置           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 我が国初の社会人のための夜間大学院</li> </ul> </li> </ul>
1992	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 連携大学院方式の開始           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 研究機関の研究者を教員に迎え、研究機関の研究環境を活用して研究指導</li> </ul> </li> </ul>
2000-2001	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 博士課程研究科の改組・再編           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 20の研究科を6つの大研究科に再編、新たな学際専攻の創出</li> </ul> </li> </ul>
2002.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図書館情報大学との統合           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 図書館情報専門学群、図書館情報メディア研究科の設置</li> </ul> </li> </ul>
2004	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国立大学法人化を契機とした改革           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 博士課程研究科中心の部局運営体制、学系の機能の見直し</li> </ul> </li> </ul>
2004～	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大学院の専攻編制の多様化・拡充           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 区分制博士課程への移行、新領域における専攻の設置</li> </ul> </li> </ul>
2007	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学群の全面改組           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ナンバー学群(第一、第二、第三)から学問分野を踏まえた学群編制に</li> </ul> </li> </ul>
2012	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育研究体制の見直し           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 新たな教員組織として10の「系」を設置</li> </ul> </li> </ul>
2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大学院課程の全面改組(学位プログラム制への全面移行)           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 8研究科85 専攻を3学術院6研究群に改組再編</li> </ul> </li> </ul>

2

IMAGINE THE FUTURE.



## 筑波大学における社会人教育プログラム

- ✓ 博士課程早期修了プログラム
- ✓ 社会人大大学院
  - ✓ 社会人特別選抜
  - ✓ 昼夜開講制
  - ✓ 長期履修制度
  - ✓ その他(エクステンションプログラム)

3

IMAGINE THE FUTURE.



## 本日の発表は

- ✓ 博士課程早期修了プログラム
- ✓ 社会人大学院

4

IMAGINE THE FUTURE.



- ✓ 博士課程早期修了プログラム
- ✓ 社会人大学院

5

IMAGINE THE FUTURE.



## 早期修了プログラムとは？

- 一定の学術的蓄積などがある社会人を対象に、最短1年で博士号（課程博士）を授与
- 博士後期課程に在籍し、研究指導を受けながら 社会人としての研究業績をベースに論文を執筆
- 達成度評価システムによって、学位授与までのプロセスを適正に遂行（学位の質の保証）

6

IMAGINE THE FUTURE.



## 本プログラムの特徴

- 博士取得のための基準とプロセスを明示
- 社内業務での研究業績をベースに博士号取得を目指す
- 達成度評価プロセスによりポイントを絞って学習
- 履修条件が揃った時点で入学  
⇒（大半が）一年間で博士取得
- 在職、遠隔でも履修が可能

7

IMAGINE THE FUTURE.



## 早期修了プログラムと 課程博士、論文博士との違い

課程博士	早期修了 プログラム	論文博士
大学院に入学 (課程博士) ↓ 通常3年間在籍し、 指導教員の元で 研究実績を重ね、 論文を執筆 ↓ 博士号(甲) 取得	大学院に入学 (課程博士) ↓ 最短1年間在籍し、 教員の指導を受け ながら <b>社会人とし ての研究業績を元 に論文を執筆</b> ↓ 博士号(甲) 取得	大学院に入学せず、 論文のみを大学に 提出 ↓ 論文審査に合格 ↓ 博士号(乙) 取得

8

IMAGINE THE FUTURE.



## 早期修了プログラムの現状

### ■ 2007年度からスタート

研究科	2007～2018年度 履修者総数・修了者総数		2019年度 履修者数
	履修者数	修了者数 (うち1年での修了者数)	
数理物質科学	92	80 ( 54 )	3
システム情報工学	128	120 ( 98 )	11
生命環境科学	141	138 ( 134 )	32
ビジネス科学	10	9 ( 6 )	0
計	371	347 ( 292 )	46

9

IMAGINE THE FUTURE.



## 早期修了プログラム実施研究科・専攻

数理物質科学	数学	物理学	化学	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	
	電子・物理工学		物性・分子工学		物質・材料工学
システム 情報工学	社会工学（社会工学学位P）			リスク工学	
	コンピュータサイエンス		知能機能システム	構造エネルギー工学	
生命環境科学	地球進化科学	生物科学	国際地縁技術開発科学		生物圏資源科学
	生物機能科学	生命産業科学	持続環境学		環境バイオマス 共生学
ビジネス科学	企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース			企業科学専攻企業法コース	

10

IMAGINE THE FUTURE.



## 履修者の主な勤務先

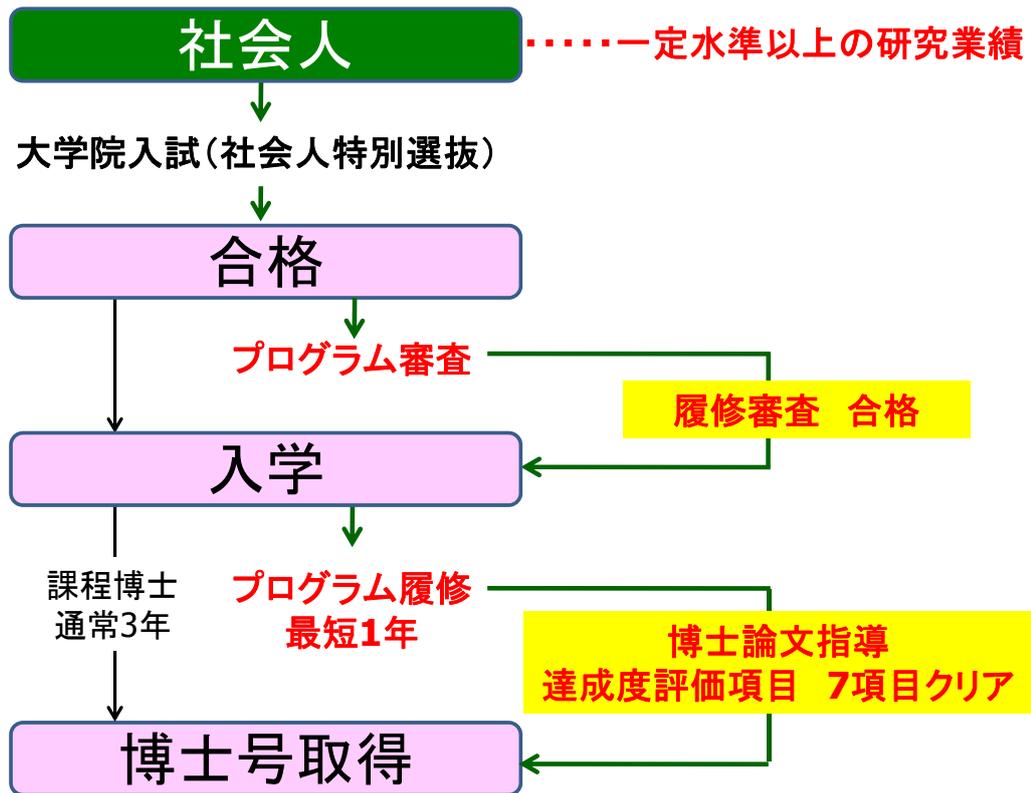
アサヒグループホールディングス株式会社	味の素株式会社	アステラス製薬株式会社	アスピオファーマ株式会社
出光興産株式会社	エーザイ株式会社	エスベック株式会社	NTTインフラネット株式会社
株式会社NTTドコモ	応用地質株式会社	小野薬品工業株式会社	花王株式会社
株式会社 鎌倉テクノサイエンス	キッコーマン株式会社	協和発酵バイオ株式会社	株式会社建設技術研究所
株式会社 神戸製鋼所	コニカミノルタ株式会社	SAMSUNG DISPLAY	首都高速道路株式会社
第一三共株式会社	武田薬品工業株式会社	中外製薬株式会社	株式会社ツムラ
株式会社ディー・エイチ・シー	東亜合成株式会社	東京ガス株式会社	株式会社 東芝
TOTO株式会社	東レ株式会社	トヨタ自動車株式会社	日本アイ・ビー・エム株式会社
株式会社 日本触媒	日本ゼオン株式会社	日本電気株式会社	日本電信電話株式会社
日本ビーシージー製造株式会社	株式会社 日立製作所	株式会社 富士通研究所	三井化学株式会社
三菱化学株式会社	森永製菓株式会社	株式会社リクルート	株式会社ヤクルト本社
法務省	国土交通省	気象庁 気象研究所	茨城県
三重県	独立行政法人 製品評価技術基盤機構	独立行政法人 日本貿易振興機構	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター	国立研究開発法人 森林総合研究所
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	国立研究開発法人 土木研究所	国立大学法人 九州大学	学校法人 関東学院 関東学院大学
公益財団法人 鉄道総合技術研究所	公共財団法人 日本交通公社		

11

IMAGINE THE FUTURE.



## 博士号取得の流れ



12

IMAGINE THE FUTURE.



## 大学院受験資格

(社会人特別選抜方式)

- 常勤、非常勤を問わず1年以上の社会的経験を有する者(見込み含む)
- 修士の学位を有する者
- 個別審査により、本学大学院において修士の学位と同等以上の学力があると認められた者



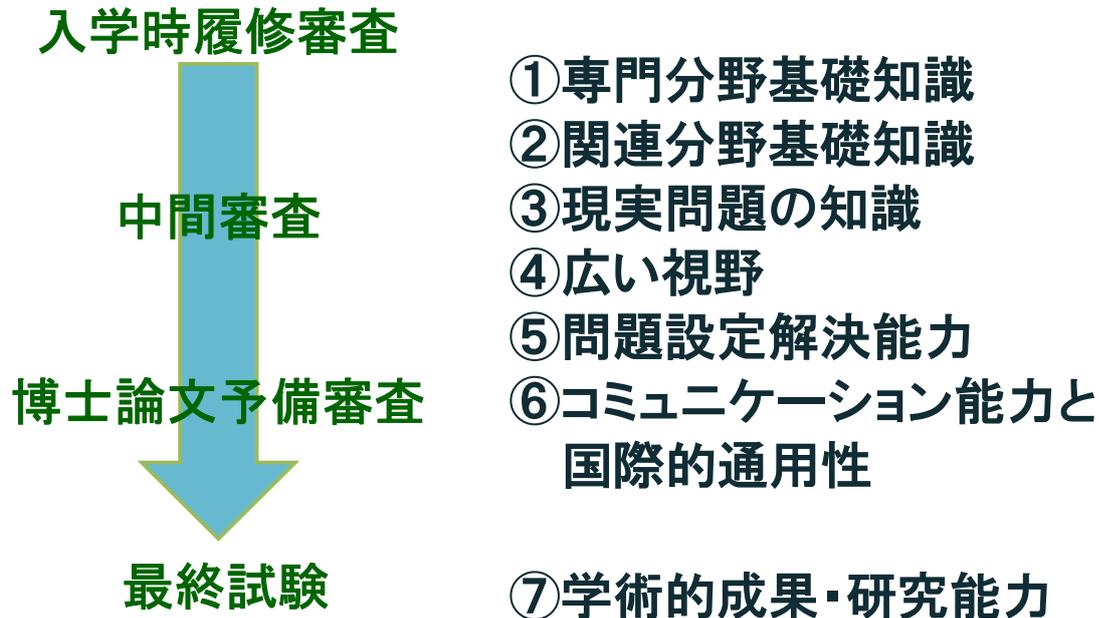
大学院入試合格後にプログラム履修審査  
⇒合格者にプログラムを適用

13

IMAGINE THE FUTURE.



## 早期修了プログラム 「達成度評価システム」



14

IMAGINE THE FUTURE.



## 入学時履修審査 提出書類 (研究科・専攻で異なる)

- 履修希望者の履歴、専門分野などの概要
- 業績リスト(既発表の査読付学術論文など)
- 7項目の達成度に関する自己評価
- 博士論文の構想

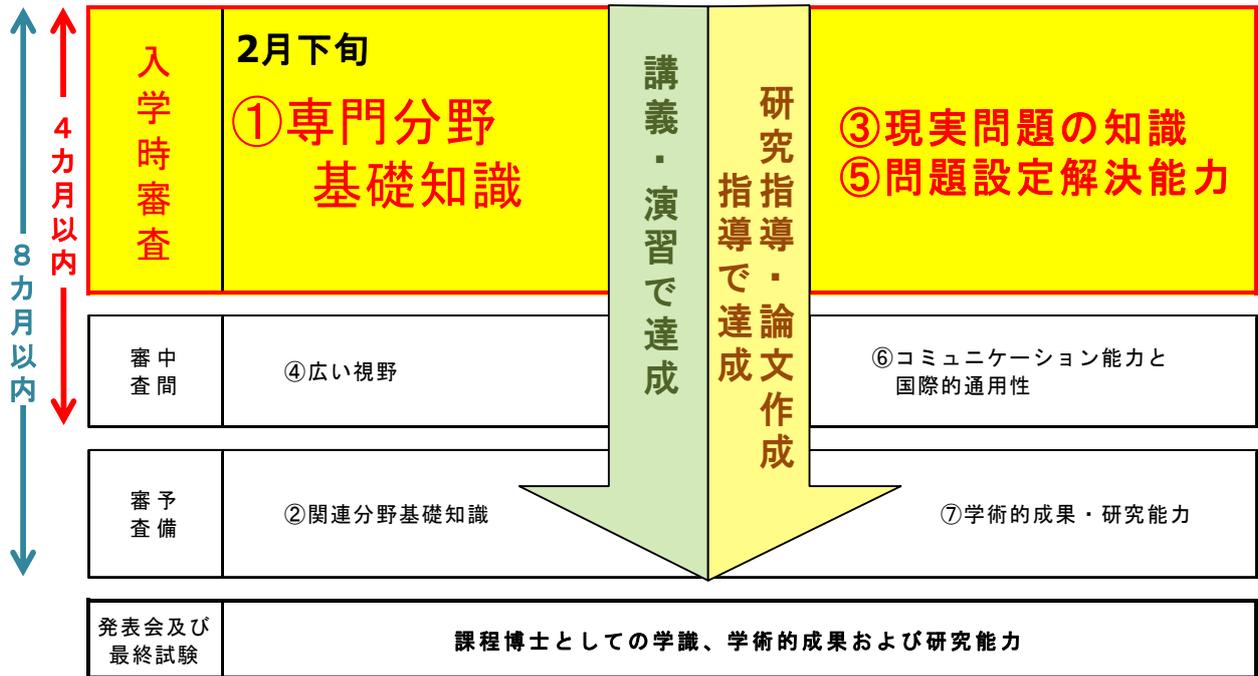
15

IMAGINE THE FUTURE.



## 入学時審査 評価の例

履修概要と達成度評価の基本モデル(専攻等の特性に応じて運用)



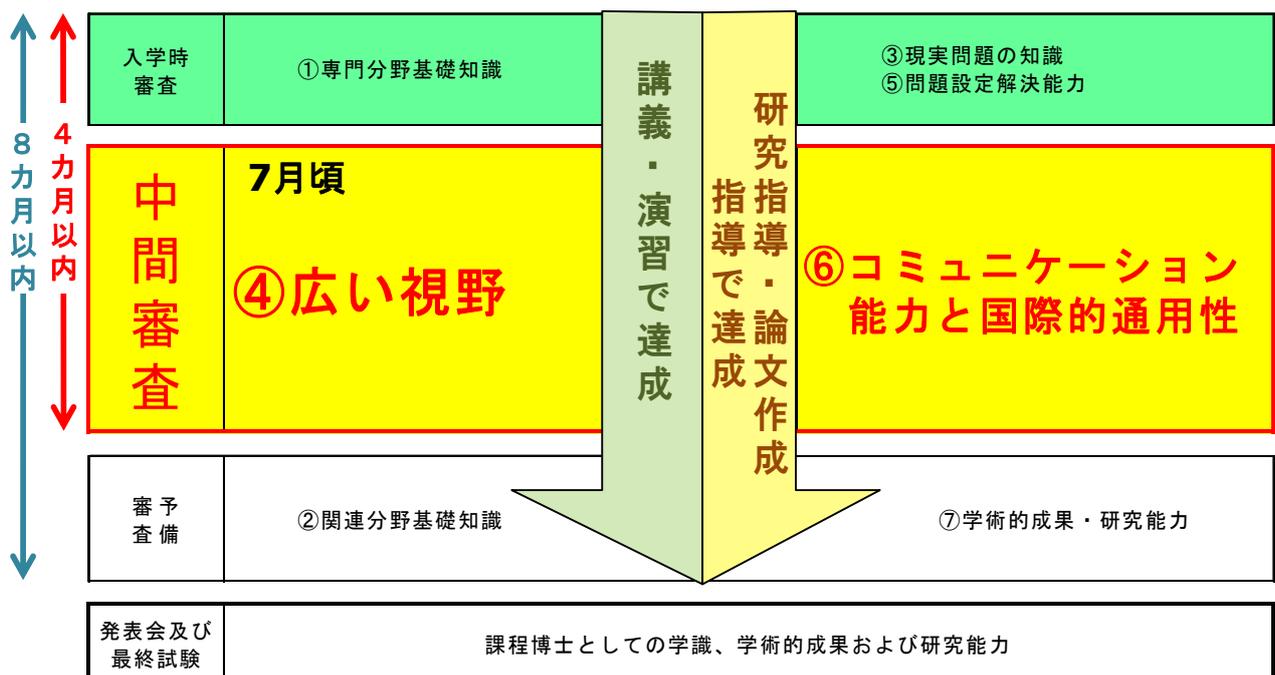
16

IMAGINE THE FUTURE.



## 中間審査 評価の例

履修概要と達成度評価の基本モデル(専攻等の特性に応じて運用)



17

IMAGINE THE FUTURE.



## 修了に必要な履修項目の例

(コースワーク:研究科・専攻で異なる)

- 特別研究(指導教員の直接指導、研究室ゼミ等)
- 特別演習(主として、中間・予備審査時のプレゼンテーション)
- 各研究科・専攻で開設する講義科目など

《10～20単位》

18

IMAGINE THE FUTURE.



## コースワークをサポートする仕組

- 遠隔講義システム、e-learningの整備・利用  
(つくばキャンパス ⇄ 東京キャンパス)
- 講義の土曜日開講や集中講義
- E-mail等による指導教員とのコミュニケーション

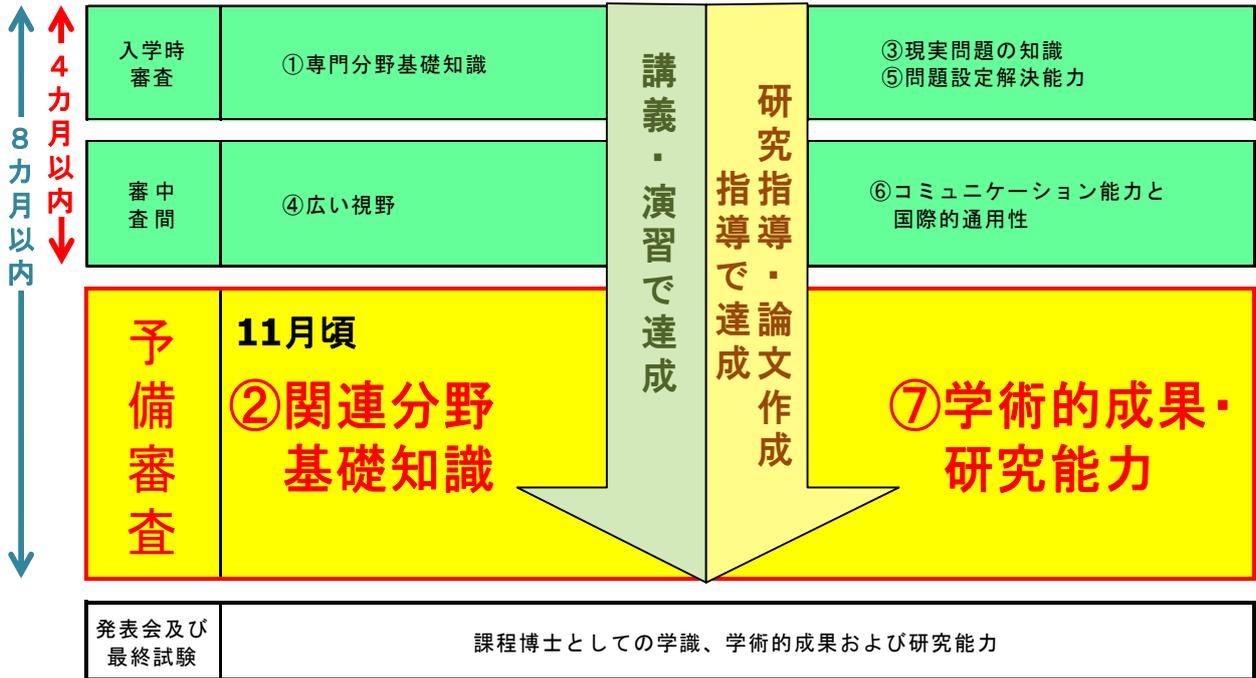
19

IMAGINE THE FUTURE.



## 予備審査 評価の例

履修概要と達成度評価の基本モデル(専攻等の特性に応じて運用)



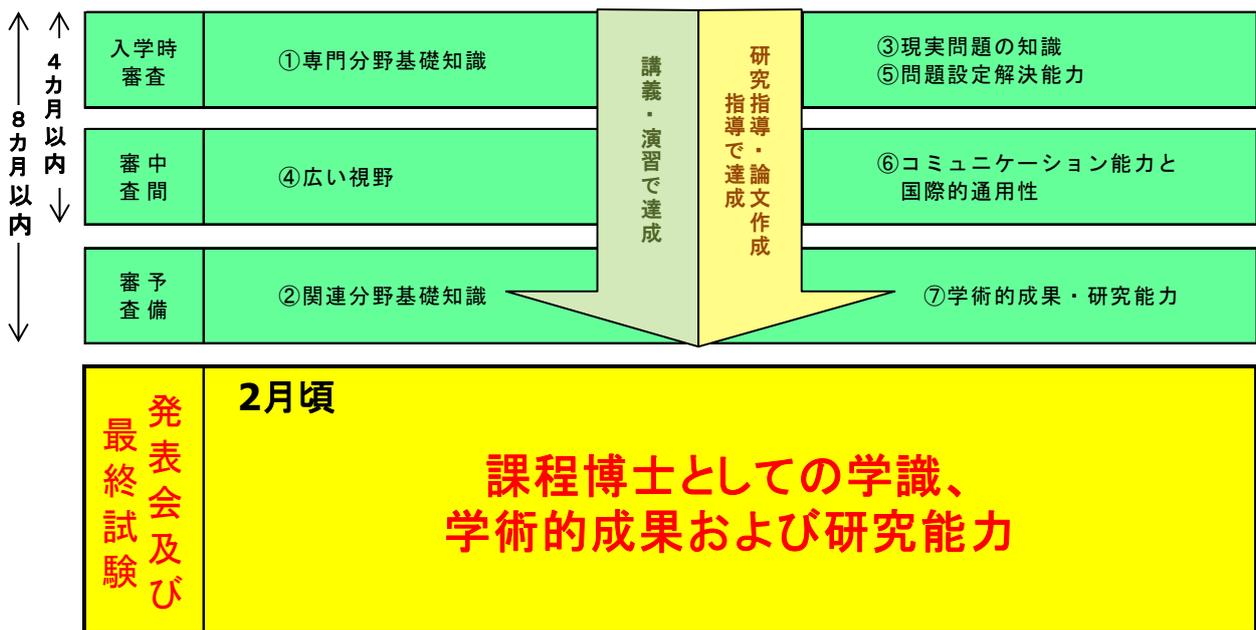
20

IMAGINE THE FUTURE.



## 最終試験時

履修概要と達成度評価の基本モデル(専攻等の特性に応じて運用)



博士号取得

継続して博士号取得を目指して履修  
(この場合にも、3年未満での修了可能)

21

IMAGINE THE FUTURE.



## 一年間で博士号が取れないときには？

- 「最短」一年であり、修了時期を延長可能
- 在籍中、業務多忙などで中断せざるをえない場合、「休学」も可能



## WEBページおよび問い合わせ先

- 早期修了プログラムホームページ  
<https://www.souki.tsukuba.ac.jp/>
- 入試情報(大学院)-筑波大学ホームページ  
<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/>
- 学生募集要項ウェブサイト  
<http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/>



✓ 博士課程早期修了プログラム

✓ 社会人大学院



## 1. 東京キャンパス社会人大学院（夜間）の 研究科/専攻の変遷

1989年4月 (平成元年)	全国で最初の社会人夜間大学院（専ら夜間開講の専攻）の設置 修士課程教育研究科にカウンセリング専攻（現生涯発達専攻）を設置 修士課程経営・政策科学研究科に経営システム科学専攻を設置
1990年4月	修士課程経営・政策科学研究科に企業法学専攻の設置
1996年4月 (平成8年)	修士課程経営・政策科学研究科を博士課程研究科へ転換 企業科学専攻（後期3年課程）を設置
2001年4月 (平成13年)	ビジネス科学研究科を設置（博士課程経営・政策科学研究科を転換） 経営システム科学専攻（博士前期課程） 企業法学専攻（博士前期課程） 企業科学専攻（博士後期課程）
2003年4月	体育研究科（修士課程）にスポーツ健康システム・マネジメント専攻を設置
2005年4月 (平成17年)	ビジネス科学研究科に専門職学位課程の専攻を設置 法科大学院（法曹専攻）を設置 国際対応ビジネススクール（国際経営プロフェッショナル専攻）を設置
2008年4月 (平成20年)	修士課程教育研究科のカウンセリング専攻及び修士課程体育研究科のスポーツ健康システム・マネジメント専攻を人間総合科学研究科へ改組・再編 人間総合科学研究科に生涯発達専攻（博士前期課程）、生涯発達科学専攻（博士後期課程）を設置 人間総合科学研究科にスポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）を設置
2016年4月 (平成28年)	人間総合科学研究科にスポーツウエルネス学位プログラム（3年制博士課程）を新規開設

## 2. 目的・特色等

### [目的]

- 生涯学習社会の到来に先駆け、能力再開発を志す社会人を対象としたレベルの高い大学院教育を実施することを目的に、東京キャンパスにおいて全国で最初の夜間大学院を設置。  
(修士課程：平成元年、博士課程：平成8年)
- いずれの専攻・学位プログラムも、社会人が属する企業や臨床組織が抱える課題を専門的に研究し、働きながら修士や博士の学位の取得を目指す。

## 2. 目的・特色等

### [特色等]

- 夜間及び土曜日に限定された開講時間帯設定となっており、働きながら修士や博士の学位取得が可能。
- 複数教員によるグループ指導や、研究発表の段階ごとに目標設定を行う「ステージ制」により学生一人ひとりのペースに合わせ論文執筆の進捗管理を行う、あるいはコースワークを重視し集中的に科目を履修する期間、論文作成に充てる期間を明確化し自ら履修計画を立てやすくするカリキュラムとするなど、履修上社会人に必要な事項に配慮。



## 2. 目的・特色等

### [特徴・強み]

- 高い有職社会人率  
cf.) ビジネス科学研究科 98.5% (全国平均49.9%)
- 少人数制による密度の高い教育により、「実務」+「研究能力」を有する人材の育成
- 博士後期課程をもった社会人大学院  
(アカデミックスクールとしても一定の評価)
- 一定の競争力 (入試倍率) を維持  
⇒ビジネススクール/大学等の教員等を100名超輩出
- 「経営学」「法学」「心理学」「生涯発達」「スポーツ・健康領域」等の総合的なレジリエンス力向上に不可欠な領域をカバー

28

IMAGINE THE FUTURE.



## 3. 入学定員、学位名

### (1) ビジネス科学研究科

	専攻	入学定員	学位	
博士前期課程	経営システム科学専攻	30名	修士(経営学)又は 修士(経営システム科学)	
	企業法学専攻	30名	修士(法学)	
博士後期課程	企業科学専攻	システムズ・マネジメントコース	23名	博士(経営学)又は 博士(システムズ・マネジメント)
		企業法コース		博士(法学)
専門職学位課程	国際経営プロフェッショナル専攻	30名	国際経営修士(専門職)	
	法曹専攻(法科大学院)	36名	法務博士(専門職)	

### (2) 人間総合科学研究科 (東京地区3専攻)

	専攻/プログラム	入学定員	学位	
修士課程	スポーツ健康システム・マネジメント専攻	24名	修士(体育学)又は 修士(保健学)	
博士前期課程	生涯発達専攻	カウンセリングコース	23名	修士(カウンセリング)
		リハビリテーションコース	23名	修士(リハビリテーション)
博士後期課程	生涯発達科学専攻	6名	博士(生涯発達科学) 博士(カウンセリング科学) 博士(リハビリテーション科学)	
3年制博士課程	スポーツウエルネス学位プログラム	若干名	博士(スポーツウエルネス学)	

29

IMAGINE THE FUTURE.



### 3. 入学定員、学位名

#### (1) ビジネス科学研究科

	専攻	入学定員	学位	
博士前期課程	経営システム科学専攻	30名	修士（経営学）又は 修士（経営システム科学）	
	企業法学専攻	30名	修士（法学）	
博士後期課程	企業科学専攻	システムズ・マネジメントコース	23名	博士（経営学）又は 博士（システムズ・マネジメント）
		企業法コース		博士（法学）
専門職学位課程	国際経営プロフェッショナル専攻	30名	国際経営修士（専門職）	
	法曹専攻（法科大学院）	36名	法務博士（専門職）	

#### (2) 人間総合科学研究科（東京地区3専攻）

	専攻／プログラム	入学定員	学位	
修士課程	スポーツ健康システム・マネジメント専攻	24名	修士（体育学）又は 修士（保健学）	
博士前期課程	生涯発達専攻	カウンセリングコース	23名	修士（カウンセリング）
		リハビリテーションコース	23名	修士（リハビリテーション）
博士後期課程	生涯発達科学専攻	6名	博士（生涯発達科学） 博士（カウンセリング科学） 博士（リハビリテーション科学）	
3年制博士課程	スポーツウエルネス学位プログラム	若干名	博士（スポーツウエルネス学）	

30

IMAGINE THE FUTURE.



### 4. 入試状況、入学者の特徴等（概要）

【2019年度入学者データより】

#### (1) 入試実施状況

➤ 概ね2～7倍の志願倍率を維持

cf.) ビジネス科学研究科経営システム科学専攻：3～4倍

人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース：5～7倍

#### (2) 年齢層／男女比

➤ 平均年齢：30代半ば～40代後半

➤ 男女比：一部を除き、概ね「1：1～2：1」

#### (3) 出身学部等、勤務先状況等

➤ いずれも多種多様

31

IMAGINE THE FUTURE.



## 5. 博士前期課程の具体的事例

### (1) ビジネス科学研究科経営システム科学専攻

#### 特色・領域

##### 筑波MBA – リサーチとプラクティスの融合

現代のビジネスリーダーには、ビジネス遂行上の課題を発見し、その本質を分析・理解し、最新の理論や手法によって解決策を確立し、かつ、それを実践できる「プラクティスとリサーチ能力」が求められている。

そのような能力を備えたビジネスパーソンこそ、今日のビジネス組織をリードし、さらには将来のトップマネジメントを担う人材と捉えて人材養成を実践。

##### 教育・研究プログラム

自身の研究の興味、必要性に応じて柔軟に研究、学習を進められるよう、以下8つの柱でプログラムを構成。

そのため、いくつかの分野を融合的に学習することも、特定の分野を集中的に学習することも可能。

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1. 戦略・組織   | 5. オペレーションズ・マネジメント |
| 2. マーケティング | 6. 統計              |
| 3. 会計      | 7. 知識・情報技術         |
| 4. ファイナンス  | 8. システム・ソフトウェア開発   |

#### 教育方法

##### 教育体制

- カスタマイズ教育  
修士論文研究の課題に応じたカリキュラム作成を指導教員がサポート
- 少人数教育  
少人数のクラスとゼミできめ細やかな教育・研究指導を実践
- 短期間での単位取得が可能  
各科目（1単位）は、75分×10コマ（週）。多忙な大学院生に配慮して、多くの講義は、1日に2コマ分を連続して講義。5週間で単位取得が可能。

##### 研究指導体制

- 教員グループによる指導  
主たる指導教員を含む複数人の教員グループが、修士論文研究を指導。
- ステージ制  
「概要発表（研究計画）」「中間発表」「最終発表」などからなるステージ制を導入。ステージ毎に達成すべき目標が設定され、修士論文研究の進捗を能動的な管理が可能。

32

IMAGINE THE FUTURE.



## 5. 博士前期課程の具体的事例

### (2) 人間総合科学研究生涯発達専攻カウンセリングコース

#### 特色

##### 2つの特色

- ① カウンセリングを心理療法に限定せず、社会の多様な領域における心理社会的諸問題への予防や支援の活動としてとらえている点。このため、医療機関等での心理臨床に加えて、企業の人事労務管理や人材育成、学校教育相談や軽度発達障害児への支援、警察や矯正機関での非行相談や矯正教育、高齢者の諸問題への支援など多様な領域でのカウンセリング活動を研究や教育の対象とする。
- ② リカレント教育の観点から、現実場面での問題解決や社会システムへの提言につながる研究や教育を重視。基礎的な理論研究に加えて、社会における実践に直接かかわりながら、研究を立案し、その知見を応用・還元することのできる研究能力を備えた研究者、高度な専門的職業人の育成・再教育を目指す。

#### 領域

- カウンセリングの歴史や基本的概念、倫理
- 家族・福祉・学校・産業・キャリア・医療・司法などの領域における心理社会的な諸問題とその支援
- ストレスやコーピング、感情や健康に関する諸理論、精神医学などの心身の健康に関する理解を深め、科学的根拠に基づいた介入
- 人間の誕生から生涯にわたる発達過程と発達段階において特徴的な心理社会的諸問題とその支援
- 現代社会における様々な問題や組織における諸問題について、国内外の最新の知見
- 心理や教育における様々なアセスメント
- 研究方法、心理統計の方法について、段階的、実践的に学修

#### 教育方法

- ✓ 課程修了に必要な大部分の科目は1年次に履修可能とし、2年次以降は修士論文の作成に十分な時間を確保できるよう科目編成に配慮
- ✓ 授業は、講義形式以外に、事例報告形式、課題討論方式、ロールプレイを含む面接実習など、実際の要求に応えた体験学習も組み入れ。
- ✓ 修士論文研究指導は1年次の3回の構想発表会、2年次の構想発表会、中間発表会を経て最終発表会に至るまで、段階を追って系統的に実施。また、修士論文での研究方法は、実験や調査に限定せず、質的研究、事例研究もされている。

33

IMAGINE THE FUTURE.



## 5. 博士前期課程の具体的事例

### (3) 両専攻・コースにおける入学者データ



34

IMAGINE THE FUTURE.



### 【ご参考】スポーツウエルネス学位プログラム (3年制博士課程 / 「専門学位」を授与するプログラム)

#### 背景

- ・ IOC等スポーツ関連国際会議において、他国では博士号を有する出席者が圧倒的多数。
- ・ 欧米では、行政機関でも、博士号を有し専門性の高い職員が難度の高い課題解決の中心メンバー
- ・ 課題解決力の向上を目指した専門性を高める社会人を対象とした博士課程が日本国内には存在しない。

#### 育成すべき能力

- ・ イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力
- ・ 課題を科学的手法で明らかにできる分析能力
- ・ ステークホルダーに対する高度なネゴシエーション力

#### 教育課程の特徴

- ・ 主指導教員に加え、2名の副指導教員(学内と外部有識者)による3名体制での指導(ゼミを含む)
- ・ 学生自ら主導する「課題解決型プロジェクト」の実施が学位取得の必須要件  
(研究学位で条件とされる場合が多い投稿論文の受理は要件として求めない)
- ・ 「課題解決型プロジェクト」は、1)計画書の作成、2)計画書の審査(プレゼン)、3)プロジェクト終了後の審査(プレゼン報告書)によって、単位を認定
- ・ 「課題解決型プロジェクト」では、アクションリサーチを取り入れ、単にプロジェクト前後の評価のみではなく、プロジェクトが成因した要因、及び課題についてそのプロセスやそれに関わるステークホルダーの分析を必須
- ・ 博士論文は、従来の科学的手法を分析に取り入れ、課題発見力を高める
- ・ 国際性を高めるために、博士論文提出前までに国際学会での筆頭としての発表を1回以上を必須

#### 育成される人材

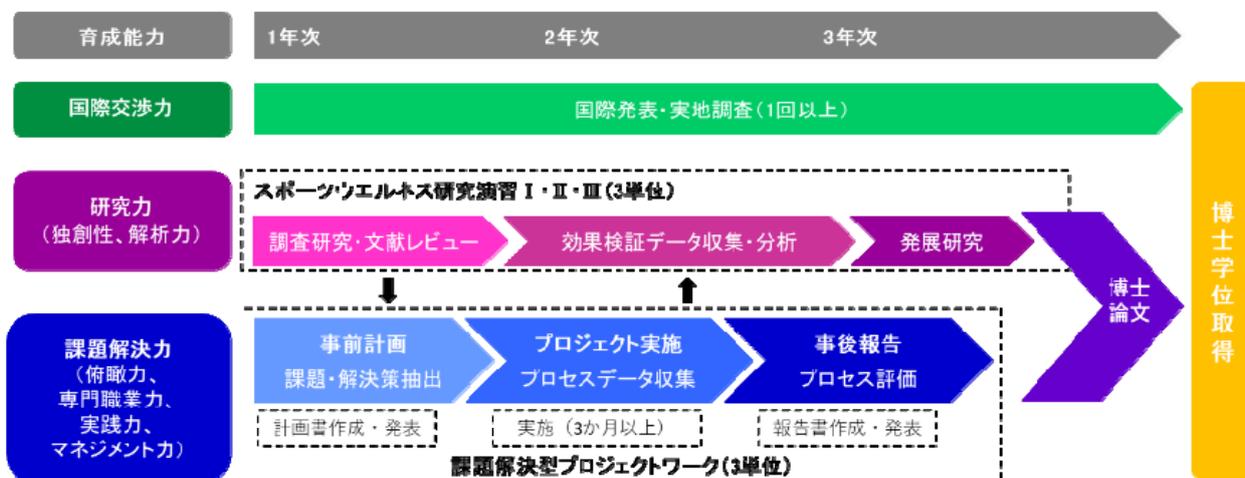
- ・ 各領域において、国際機関等のグローバルなレベルで日本を代表して調整を行える人材
- ・ 政府および関連機関、地方自治体等において、課題解決プロジェクトの推進リーダーを務める人材

35

IMAGINE THE FUTURE.



## 標準的な学位取得までの流れ



## 社会人教育・リカレント教育を推進するに当たっての課題認識等（私見を含む）

- ✓ 在職のまま（若しくは有職経験を経て）大学院で修士、専門職又は博士の学位取得を目指す社会人学生の大学院教育に対するニーズを踏まえた教育とは？
- ✓ 従来の大学院教育を変えずに、単に受け皿を用意する（門戸を広げる）だけで良いのか？
- ✓ 社会（社会人）のニーズに即した人材養成目的の設定、また、受け入れる課程も踏まえた「3つのポリシー」の策定や教育方法の見直し（教員の意識変革を含む）は必要ないか？



### 【ご参考】2020年度からの筑波大学大学院の改組再編

- 筑波大学は、2020年度に大学院課程の全てを改組し、「学位プログラム制に全面移行」します。  
(現行組織を新組織の移行関係は別添をご参照下さい。)
- 体育・芸術も含む、幅広い学問分野を有する総合大学／研究型大学として、「国際性」「学際性」を掲げ、これまでも、日本の大学の中で様々な教育改革を先導してきました。
- 今回の大学院の改組再編を契機に、社会人教育を含め、本学の強みを一層活かし、取り組むこととしています。

# 筑波大学の大学院改革 -あらゆる壁を取り払い、新たな学術領域を切り拓く研究型総合大学として進化-

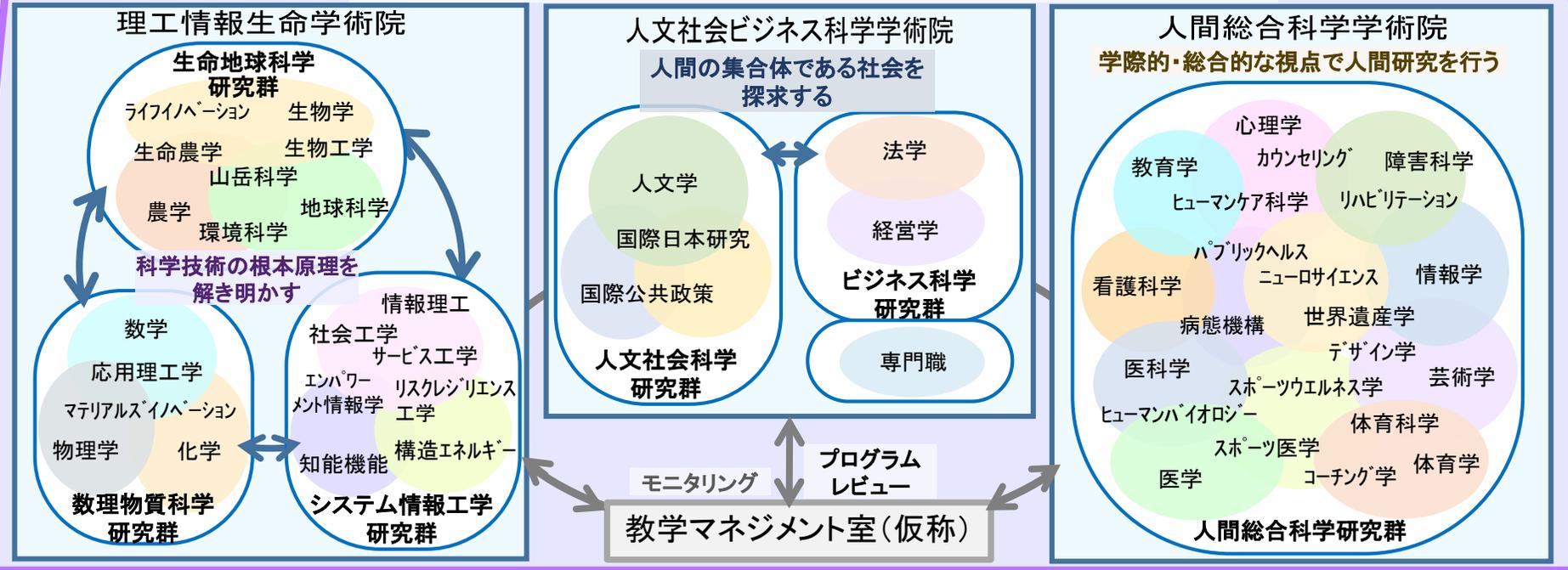
【別添】

グローバル化 IT革命 第4次産業革命 保健・医療 環境・気候変動 防災 ...  
 ... AI化 人生100年時代 少子高齢化 Society 5.0 資源・エネルギー 食料

高度化・多様化する社会で活躍する人材の育成

急激に進歩する科学技術 急激に変化する社会 深刻化する地球規模の課題

## 2020年度からの大学院課程「3学術院・6研究群」体制 (56学位プログラム)



## 2019年度までの大学院課程「8研究科・85専攻」体制

<b>人文社会科学研究科</b> 前期 4専攻 後期 3専攻 一貫制 3専攻	<b>ビジネス科学研究科</b> 前期 2専攻 後期 1専攻 専門職 2専攻	<b>数理物質科学研究科</b> 前期 5専攻 後期 7専攻	<b>システム情報工学研究科</b> 前期 5専攻 後期 5専攻	<b>生命環境科学研究科</b> 前期4、後期9専攻 一貫制 1専攻 国際連 1専攻	<b>人間総合科学研究科</b> 前期11、後期13専攻 共同2、国際連 1専攻 医学課程 2専攻	<b>図書館情報メディア研究科</b> 前期 1専攻 後期 1専攻	<b>教育研究科</b> 修士 2専攻
---	---	--------------------------------------	--	---	--	---	------------------------

# 現専攻から学位プログラムへの移行表

## 人文社会科学部

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
人文社会科学	哲学・思想	一貫	6		博士(文学)
	歴史・人類学	一貫	12		博士(文学)
	文芸・言語	一貫	20		博士(文学) 博士(言語学)
	現代語・現代文化	区分	10	8	修士(文学) 修士(言語学) 博士(文学) 博士(言語学)
	国際公共政策	区分	15	10	修士(国際政治経済学) 修士(政治学) 修士(社会学) 修士(国際公共政策) 博士(国際政治経済学) 博士(政治学) 博士(社会学) 博士(国際公共政策)
	国際日本研究	区分	25	19	修士(国際日本研究) 修士(社会科学) 修士(人文科学) 修士(日本語教育学) 博士(国際日本研究) 博士(社会科学) 博士(人文科学) 博士(日本語教育学)
国際地域研究	修士	36		修士(地域研究) 修士(公共政策) 修士(経済学) 修士(国際学)	

研究科(前、後)合計	86	37
研究科(5年一貫)合計	38	

## 人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
人文学	区分	哲学・思想	修士(文学) 博士(文学)	54	42	研究学位
		歴史・人類学				
		文学 言語学				
		現代文化学 英語教育学				
国際公共政策	区分		修士(国際公共政策) 博士(国際公共政策)	51	10	研究学位
国際日本研究	区分		修士(国際日本研究) 博士(国際日本研究)	34	14	研究学位

入学定員計		
人文社会(前、後)入学定員 合計	139	66

## ビジネス科学研究科

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
ビジネス科学	企業法学	前期	30		修士(法学)
	経営システム科学	前期	30		修士(経営学) 修士(経営システム科学)
	企業科学	後期		23	博士(法学) 博士(経営学) 博士(システム・マネジメント)
	法曹	専門職	36		法務博士(専門職)
	国際経営プロフェッショナル	専門職	30		国際経営修士(専門職)

研究科(前、後)合計	60	23
研究科(専門職3年)	36	
研究科(専門職2年)	30	

### 収容定員 合計

人社+ビジネス 収容定員	536	294	830
--------------	-----	-----	-----

## ビジネス科学研究群

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
法学	区分		修士(法学) 博士(法学)	33	6	研究学位
経営学	区分		修士(経営学) 博士(経営学)	30	15	専門学位 研究学位
<b>法曹専攻</b>						
法曹	専門職		法務博士(専門職)	36		専門職学位
<b>国際経営プロフェッショナル専攻</b>						
国際経営プロフェッショナル	専門職		国際経営修士(専門職)	30		専門職学位

入学定員計		
ビジネス(前、後)入学定員 合計	63	21
専門職3年 入学定員	36	
専門職2年 入学定員	30	

### 収容定員 合計

人文社会ビジネス科学学術院 収容定員	572	261	833
--------------------	-----	-----	-----

# 現専攻から学位プログラムへの移行表

## 数理物質科学研究科

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
数理物質科学	数学	区分	27	12	修士(理学) 博士(理学)
	物理学	区分	50	20	修士(理学) 博士(理学)
	化学	区分	48	16	修士(理学) 博士(理学)
	電子・物理工学	区分	54	16	修士(工学) 博士(工学)
	物性・分子工学	区分	61	13	修士(工学) 博士(工学)
	物質・材料工学	後期3年		9	博士(工学)
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	後期3年		25	博士(理学) 博士(工学)
研究科 合計			240	111	

## 理工情報生命学術院 数理物質科学研究群

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
数学	区分		修士(理学) 博士(理学)	32	8	研究学位
物理学	区分		修士(理学) 博士(理学)	60	17	研究学位
化学	区分		修士(理学) 博士(理学)	51	15	研究学位
応用理工学	区分	電子・物理工学 物性・分子工学 NIMS連携物質・材料工学(後期のみ)	修士(工学) 博士(工学)	123	42	研究学位
国際マテリアルズイノベーション	区分		修士(工学) 博士(工学)	10	6	研究学位

数理物質(前、後)入学定員 合計	276	88
------------------	-----	----

## システム情報工学研究科

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
システム情報工学	社会工学	区分	108	26	修士(社会工学) 博士(社会工学) 修士(サービス工学)
	リスク工学	区分	30	12	修士(工学) 修士(社会工学) 博士(工学) 博士(社会工学)
	コンピュータサイエンス	区分	113	28	修士(工学) 博士(工学)
	知能機能システム	区分	108	24	修士(工学) 博士(工学)
	構造エネルギー工学	区分	68	16	修士(工学) 博士(工学)

## システム情報工学研究群

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
社会工学	区分		修士(社会工学) 博士(社会工学)	88	22	研究学位
サービス工学	前期		修士(サービス工学)	24		専門学位
リスク・レジリエンス工学	区分		修士(工学) 博士(工学)	32	13	研究学位
情報理工	区分		修士(工学) 博士(工学)	116	25	研究学位
知能機能システム	区分		修士(工学) 博士(工学)	100	16	研究学位
構造エネルギー工学	区分		修士(工学) 博士(工学)	68	16	研究学位
エンパワーメント情報学	一貫		博士(人間情報学)	8		研究学位
ライフィノベーション(生物情報)	区分		修士(生物情報学) 博士(生物情報学)	3	2	専門学位

## (グローバル教育院)

G教育院	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
G教育院	エンパワーメント情報学	一貫			博士(人間情報学)
	ライフィノベーション	区分			(学位の新設)
研究科 合計			427	106	

システム情報(前、後)入学定員 合計	431	94
システム情報(5年一貫)入学定員 合計	8	

## 生命環境科学研究科

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
生命環境科学	生物科学	区分	49	26	修士(理学) 修士(生物科学) 博士(理学) 博士(生物科学)
	生物資源科学	前期	106		修士(農学) 修士(生物資源工学) 修士(生物工学) 修士(バイオティクロマシー)
	国際地縁技術開発科学	後期		22	博士(農学) 博士(生物資源工学)
	生物圏資源科学	後期		20	博士(農学)
	先端農業技術科学	後期3年		6	博士(農学)
	生物機能科学	後期		21	博士(農学) 博士(生物工学)
	生命産業科学	後期		12	博士(農学) 博士(生物工学)
	地球科学	前期	39		修士(理学) 修士(地球科学) 修士(地球環境科学)
	地球環境科学	後期		11	博士(理学) 博士(地球環境科学)
	地球進化科学	後期		8	博士(理学) 博士(地球科学)
	環境科学	前期	69		修士(環境科学)
	持続環境学	後期		12	博士(環境学)
	環境バイオマス共生学	一貫	21		博士(学術)
	国際連携持続環境科学	前期	6		修士(持続環境科学)
	学位P	山岳科学	前期		修士(山岳科学)

## 生命地球科学研究群

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
生物学	区分		修士(理学) 博士(理学)	55	22	研究学位
生物資源科学	前期		修士(農学)	124		研究学位
農学	後期	NARO連携先端農業技術科学	博士(農学)		34	研究学位
生命農学	後期		博士(生命農学)		15	研究学位
生命産業科学	後期		博士(生物工学)		12	研究学位
地球科学	区分		修士(理学) 博士(理学)	52	19	研究学位
環境科学	前期		修士(環境科学)	55		専門学位
環境学	後期		博士(環境学)		12	専門学位
山岳科学	前期		修士(山岳科学)	20		専門学位
ライフィノベーション(食料革新)	区分		修士(食料革新学) 博士(食料革新学)			専門学位
"(環境制御)	区分		修士(環境制御学) 博士(環境制御学)	5	4	専門学位
"(生体分子材料)	区分		修士(生物工学) 博士(生物工学)			専門学位

## (グローバル教育院)

G教育院	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
G教育院	ライフィノベーション	区分			修士(食料革新学) 修士(環境制御学) 博士(食料革新学) 博士(環境制御学) (学位の新設)

## 国際連携持続環境科学専攻

国際連携持続環境科学	前期		修士(持続環境科学)	6		専門学位
------------	----	--	------------	---	--	------

研究科(前、後)合計	269	138
研究科(5年一貫)合計	21	

生命地球(前、後)入学定員 合計	311	118
国際連携専攻	6	

### 収容定員合計

数理+シス+生命収容定員	1,914	1,128	3,042
--------------	-------	-------	-------

理工情報生命学術院 収容定員	M	D	収容定員合計
	2,064	924	2,988

# 現専攻から学位プログラムへの移行表

## 人間総合科学研究科/図書館情報メディア研究科/教育研究科

研究科	専攻	課程	入学定員		学位名
			M	D	
教育 学位P	スクールリーダーシップ開発	修士	20		修士(教育学)
	教科教育	修士	80		修士(教育学)
	教育学(国際教育)	修士			修士(教育学)

教育学	前期	18		修士(教育学)	
教育基礎学	後期		8	博士(教育学)	
学校教育学	後期		6	博士(教育学)	
心理	前期	16		修士(心理学)	
心理学	後期		6	博士(心理学)	
障害科学	区分	45	10	修士(障害科学) 博士(特別支援教育学) 博士(障害科学)	
生涯発達	前期	46		修士(カウンセリング) 修士(リハビリテーション)	
生涯発達科学	後期		6	博士(生涯発達科学) 博士(カウンセリング科学) 博士(リハビリテーション科学)	
フロンティア医科学	修士	50		修士(医科学) 修士(公衆衛生学) 修士(ヒューマン・ケア科学)	
ヒューマン・ケア科学	後期3年		18	博士(ヒューマン・ケア科学) 博士(教育学) 博士(心理学) 博士(体育科学) 博士(公衆衛生学)	
感性認知脳科学	区分	14	10	修士(感性科学) 修士(行動科学) 修士(神経科学) 博士(感性科学) 博士(行動科学) 博士(神経科学)	
看護科学	区分	15	8	修士(看護科学) 博士(看護科学)	
スポーツ医学	後期3年		10	博士(スポーツ医学)	
体育学	前期	115		修士(体育学) 修士(コーチング学) 修士(スポーツ・オリンピック学)	
体育科学	後期		15	博士(体育科学) 博士(健康スポーツ科学)	
スポーツ健康システム・マネジメント	修士	24		修士(体育学) 修士(保健学)	
学位P	スポーツウエルネス	後期		博士(スポーツウエルネス学)	
コーチング学	後期3年		5	博士(コーチング学)	
芸術専攻	区分	60	10	修士(デザイン学) 修士(芸術学) 博士(デザイン学) 博士(芸術学)	
世界遺産	前期	15		修士(世界遺産学)	
世界文化遺産学	後期		7	博士(世界遺産学)	
生命システム医学	医学4年		28	博士(医学)	
疾患制御医学	医学4年		34	博士(医学)	
スポーツ国際開発学共同	修士	5		修士(スポーツ国際開発学)	
学位P	大学体育スポーツ高度化共同	後期3年		3	博士(体育スポーツ学)
国際連携食料健康科学	修士	9		修士(食料健康科学)	

(グローバル教育院)				
G 教育院	ヒューマンバイオロジー	一貫		博士(人間生物学)
	ライフイノベーション	区分		修士(病態機構学) 修士(医科学) 博士(病態機構学) 博士(医科学)

## 人間総合科学学術院 人間総合科学研究科

学位プログラム/専攻	課程	サブプログラム	学位名	募集人員		学位系統
				M	D	
教育学	前期	国際教育	修士(教育学)	102		研究学位
		次世代学校教育創成				
		教育基礎科学				
心理学	後期		博士(教育学)		20	
		区分	心理基礎科学 心理臨床学	修士(心理学) 博士(心理学)	16	6
障害科学	区分		修士(障害科学) 博士(障害科学)	38	10	研究学位
		前期	修士(カウンセリング)	23		研究学位
カウンセリング	後期	カウンスリング科学	博士(カウンセリング科学)		4	研究学位
		区分	修士(リハビリテーション科学) 博士(リハビリテーション科学)	23	4	研究学位
リハビリテーション科学	修士		修士(医科学)	50		研究学位
フロンティア医科学	修士		修士(公衆衛生学)	10		専門学位
公衆衛生学	後期3年		博士(ヒューマン・ケア科学)		9	研究学位
ヒューマン・ケア科学	後期3年		博士(公衆衛生学)		9	研究学位
ニューロサイエンス	区分		修士(神経科学) 博士(神経科学)	10	5	研究学位
看護科学	区分		修士(看護科学) 博士(看護科学)	15	8	専門学位 研究学位
スポーツ医学	後期3年		博士(スポーツ医学)		10	研究学位
体育学	前期		修士(体育学)	120		研究学位
スポーツ・オリンピック学	前期		修士(スポーツ・オリンピック学)	8		研究学位
体育科学	後期		博士(体育科学)		15	研究学位
スポーツウエルネス学	区分		修士(スポーツウエルネス学) 博士(スポーツウエルネス学)	24	3	専門学位
コーチング学	後期3年		博士(コーチング学)		6	研究学位
芸術学	区分		修士(芸術学) 博士(芸術学)	45	7	研究学位
デザイン学	区分		修士(デザイン学) 博士(デザイン学)	18	5	研究学位
世界遺産学	区分		修士(世界遺産学) 博士(世界遺産学)	15	5	専門学位 研究学位
医学	医学4年		博士(医学)		80	研究学位
情報学	区分		修士(情報学) 博士(情報学)	54	12	研究学位
ヒューマンバイオロジー	一貫		博士(人間生物学)	8		専門学位
ライフイノベーション(病態機構)	区分		修士(病態機構学) 博士(病態機構学)		4	専門学位
ライフイノベーション(創薬開発)	区分		修士(医科学) 博士(医科学)		3	専門学位

スポーツ国際開発学共同専攻						
スポーツ国際開発学共同	修士		修士(スポーツ国際開発学)	5		専門学位

大学体育スポーツ高度化共同専攻						
大学体育スポーツ高度化共同	後期3年		博士(体育スポーツ学)		3	専門学位

国際連携食料健康科学専攻						
国際連携食料健康科学	修士		修士(食料健康科学)	9		専門学位

研究科(前、後)合計	555	140
研究科(医学4年)合計		62
共同、国際:3専攻の合計	14	3

人間総合(前、後)入学定員合計	575	141
人間総合(医学4年)入学定員合計		80
人間総合(5年一貫)入学定員合計	8	
共同、国際:3専攻 入学定員合計	14	3

収容定員合計		
人総+図情+教育収容定員	1,137	677
		1,814

人間総合科学学術院 収容定員		
M	D	収容定員合計
1,194	776	1,970